

# 議 事 録

令和7年 7月 7日

会 議 名	一般社団法人 天草宝島観光協会 令和7年 通常総会
日 時	期 日：令和7年6月25日（水） 時 間：15時00分 ～16時40分
場 所	ホテルアレグリアガーデンズ天草（熊本県天草市本渡町大字広瀬996）
<p>出席者 会 長 藤本 貴士 副会長 田口 京重、金子 信之、山下 修平、濱崎 英文 顧 問 泉 廣幸 監 事 近藤 雄一、本田 一</p> <p>来 賓 11名</p> <p>総 計：338名 うち委任状：286名</p> <p>&lt;次第&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会</li><li>2. 会長挨拶</li><li>3. 観光功労者表彰</li><li>4. 来賓挨拶</li><li>5. 議長選出</li><li>6. 議事録署名人の指名</li><li>7. 議事 議案第1号 令和6年度事業報告について 議案第2号 令和6年度決算及び監査報告について 議案第3号 定款変更について（理事数の変更） 議案第4号 役員の改選について 報告第1号 令和7年度事業計画及び収支予算について</li><li>8. 議長解任</li><li>9. 閉会</li></ol> <p>1 開 会 （司会 金子） ご案内した時刻となりましたので、開会を当協会副会長田口京重が申し上げます。</p> <p>（副会長 田口氏） ここに来る前ニュースを聞いてましたら札幌が34℃、沖縄が31℃だから北にある方がいい気候だというふうに思ってたんですけど、なんか変わった気候になってきてるんだなあというのを感じました。また暑い夏が近づいてるなあ、天草の夏という感じがいたしました。 それではですね、一般社団法人天草宝島観光協会、令和7年通常総会を開式いたします。</p>	

(司会 金子)

続きまして、一般社団法人天草宝島観光協会会長藤本貴士がご挨拶申し上げます。

(藤本会長)

皆様、改めまして、こんにちは。本日は令和7年天草宝島観光協会通常総会に多くの会員の皆様にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆様も、公共に大変お忙しい中、ご臨席賜り、重ねてお礼を申し上げます。

さて、令和6年度の事業もですね、皆様のご協力のもと、無事滞りなく全て終えることができましたことをこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。感染症位置付けもですね、2類から5類へ移行して丸2年経過しますけども、ようやく観光業界全体もですね、平常に戻り、人流も回復しつつある中、昨年3月にオープンしました御所浦の恐竜博物館も来館者3万人超えたという報道もございまして、また、来年秋には倉岳の棚底城跡地には新たな観光スポット、戦国ミュージアムの誕生ということで、新たな東ルートの魅力ある観光ルートを着手していきたいと思っております。

これから梅雨が明けますと、いよいよ天草もトップシーズンに突入しますが、今年はですね現在開催中の大阪関西万博、また来月には沖縄で大型アミューズメントパーク「ジャングリア」など、多分に多少影響あると思いますが、天草のイルカウォッチングをはじめですね、マリンレジャー、グルメを総動員して、夏休み期間中もしっかりと取りこぼしのないようですね、来島していただくよう、誘客に努めてまいりたいと思います。

一方、インバウンドですけれども、昨年、24年、国内訪日外国人数が約3700万人。そして県内に至りますと144万人ともものすごい数がいらっやっています。この数値だけでもインバウンドの盛況ぶりが伺えます。また来月11日にはいよいよ中国本島を結ぶ上海熊本便が就航いたします。

また8月には台湾高尾線も増便ということで、さらに期待しております。熊本空港も国際線もですね、これで計6路線、週42便と、ますます活況を呈するすることが予測できます。

日本政府もですね、2030年には訪日外国人数6000万人、および観光消費額15兆円として、ものすごい数を抱えております。その波に乗り遅れずですね、私ども官公庁のインバウンド補助金等もですね、最大限活用しながら、また他の地域に取り遅れないように各関係機関の皆様とより密に連携を図りながらですね、1人でも多くのインバウンドのお客様を天草に呼び込んでいきたいと思っております。

また昨年同様に台湾をはじめ、あの商談会等もですね積極的に参加し、また招待ツアー、インフルエンサー等もですね、どんどん承知して天草をどんどんプロモーション展開してまいりたいと思います。

最後になりますが、来年は天草雲仙国立公園70周年という節目の年でもあります。そこに向けた大きな弾みとなりますよう、観光協会も一丸となってですね、さらなる交流人口の拡大に向け取り組んでまいりますので、引き続き当協会の活動に対しまして、皆様のご協力、ご理解等を申し上げます、お礼申し上げます、また、本日ご臨席の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、そしてますます天草の発展を切に願ひまして、挨拶をさせていただきます。本日はどうぞ最後までよろしくお願い申し上げます。

(司会 金子)

観光功労者表彰を執り行います。当協会では、観光振興に顕著な功績があった方を毎年、総会の開催に合わせて表彰しております。対象者の推薦にあたり、一般社団法人天草宝島観光協会表彰規程を添えて各支部に伺いましたところ、残念ながら、今年度については対象者の推薦なしということになりました。従いまして、観光功労者表彰につきましては、表彰者対象なしとさせていただきます。

それでは、ご来賓の方々のご紹介に移らせていただきます。本日は公私ともにお忙しい中、多くのご来賓にご臨席賜りました。ここでご来賓を代表して2名の方からご挨拶を頂戴いたします。天草市長馬場昭治様、お願いいたします。

(天草市長 馬場昭治様)

皆さん、こんにちは。ただいま、ご紹介いただきました天草市長の馬場ででございます。本日

は、令和7年のですね、一般社団法人天草宝島観光協会協会通常総会が、このように皆様方多数のご参集を得て開催できますこと、心からお喜びを申し上げたいと思います。本当におめでとうございます。そしてまた、日頃からですね、観光業界だけではなくて、天草の市政等々にもですね、皆さんにご理解、ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして、心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。この観光協会も、藤本会長を先頭にですね、しっかりと頑張っていただき、この総会を迎えました。

今日は私も、実はほとんど来れてなくてですね、ようやく今回参加することができたわけですが、2月、私も2期目の当選を果たさせていただくことができました。皆様方のご理解とご協力のおかげと心から感謝を申し上げます。

しっかりと一期目の努力も足りなかつたところも含めてですね、しっかりと頑張っていきたいというふうに思いますので、どうかご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今日ですね、ここに行きまして、どんなことをお話をしようかなということで、ずいぶん考えてまいりました。この間、先週ですね、先週まで天草の市議会が、第3回の定例会が開かれておりました。そこで私も当選して、2期目の当選をしてですね、最初の施政方針を述べさせていただいたわけですが、その中で、ものすごい幅広いわけですが、その中でも特にこの観光についてはですね、私も覚悟と、そして思いを持ってお話をさせていただいたわけでございます。

とにかくこの天草においてですね、皆さんもご承知の通り、この観光というものは天草の宝でありますし、そして何よりもこの盛り上がり、そして観光によってですね、たくさんの人を世界中から呼び込んでこなければ、これは天草の本当に浮揚というのではないというふうに思っております。そのために行政といたしましても精一杯の努力をしていく。そういう覚悟を持ってですね、この間の議会でもお話をさせていただきました。

それで、まずはこの間の議会の中でですね、お話をさせていただいたこと、いくつか紹介をさせていただきたいというふうに思います。

まずはですね、一番まあ大きなところで言いますと、交通問題。やはりですね、この天草の島内交通が非常に不便であるということで、私が2期目の一番マニフェストの中心にも据えておりますのが、公共交通の抜本的な見直しということ掲げております。

これはどういうことかと言いますと、やはりこの天草のですね、今、公共交通、本当に例えば本渡まで来たとしても、そこからインバウンドで海外の方々が車を運転できない人であればですね、公共交通でなかなか天草の、例えば世界遺産であるとか、牛深であるとかいろんなところを回って、観光することができないというような状況そういう弱点がありました。もちろんそれはどういうことかって、やはりこの観光の客だけではなくてですね、地元の住民の人たちにとっても、実は非常に不便であったということでございまして、高齢化をしていく中で、免許を持たない、要は免許を返納した方々がいつまでもこの地域で幸せに暮らしていくことができるようにするためにはどうするべきかと、やはりこの交通を改善していく必要があるということで、一つ大きく柱として掲げました。

令和10年までに、まずバス、公共交通の今九州産交さんのバスをですね、周辺部までぐるぐる回しておりました。もう隅々まで回しておりましたが、これを集約をして、幹線の方にですね集約をしました。一時間に1本最低でも回しながらですね、そこに周辺部についてはすべてAIオンデマンド乗り合いタクシー、これでドアツードアで目的地、自分の行きたいところに行ける、それを要は制御し、そしてこの幹線のバスにですね、接続をして、本渡まで。そしてまたそれから本渡に帰るような、そういう公共交通につなぎ直していくということで、これが実現しますとですね、かなり便利になってくると。地域の人たちだけではなくてですね、これの目的は、先ほど言いました観光客の皆さん方が、これは当然アプリとかの開発も含めてやっていくわけですが、自由自在にこの天草を旅して回ることができるという、そういう交通になるように努力をしていきたいというふうに考えているところでございます。

今日、周りの方のFacebook等にもちょっと出ておりましたけれども、九州産交さんにおかれましてはですね、10月に入ってからですね、天草から熊本空港までの直行バスを運行することで、今申請を出していただいております。今月中にその許可がおりるのかどうかというところなんで

すけれども、これは一応今のところ、一日2便かな、2億、一応今計画をされておりますけれども、これ2時間半で結局つなぐということになっていきます。

こういふことで、当然インバウンド台湾から来られたお客さん、香港から来られたお客さん、いろんな方々が熊本空港からバスに乗れば、そのまま本渡まで直行で来れるという、それも2時間半で来れるというような形になるとですね、より利便性も高まってくれないかというふうに思います。

まあそういう一つずつですね、いっぺんにはなかなかできませんけれども、一つずつその課題解決に向けてですね、努力をしていきたいというふうに思っております。

それと、もう一つ、先ほど会長からお話もありましたように、来年が雲仙国立公園70周年を迎えます。これに向けて、この天草の西海岸から牛深にかけてのですね、ルートっていうのは、まずは非常にこう重要になります。もちろん御所浦とかですね、他にも国立公園ありますので、そういうきちんとした整備をしていこうということで、今、その取り組みも、去年からしっかりと今取り組んでおりましてですね、景観をよくしようとか、そういうところもやっております。

で、そういうところと、あとはサイクルツーリズムにおいてですね、今年実施。まずはプレ大会ということで、今年、グランfondっていう自転車でのですね、ロングライドのですね、大会を来年、本格的な大会をこの天草に持ってきてやろうということで実施をする。これも県と二市一町ですね、一緒にやるわけですがけれども、このプレ大会は今年やりますし、来年はそのまやるといふようなことで、これも継続してやっていけるような風になっていくといいなというふうに思っているところでございます。

いろんなことを今、計画をしています。まあ、本当にあの施設も含めてですね、ご承知のいろいろ御所浦の博物館もできました。そして、スポーツにおいては、あましんスタジアム、そして本渡運動公園。様々な整備も着実に進んでいきました。

そのおかげで、かなりこのスポーツツーリズムの部分においてもですね、合宿誘致とか大会誘致とかも順調に伸びてきておりまして、昨年は、実際、実はですね、あの直接経済効果として4億2000万の経済効果が天草の中に落ちてきたと、今後、これも本渡だけではなくてですね、周辺のそれぞれの地域にですね、皆さん方が泊まっていただけるように、そして大会とか合宿していただけるように、今、エアコンの整備も体育館等にはどんどんしておりますし、そしてまた宿泊のですね、補助、そこについては、本渡以外のところで泊まれる方々に対してはですね、補助もやっていくと、そういう取り組みをしております。

行政でできることはしっかり一つずつ確実にやっていっておりますので、どうか皆さんにはそこら辺はご理解をいただきたいというふうに思います。

それともう一つ、昨年、一昨年と昨年でこの2か年で、今年までやるんですけども、宿泊、おもてなしの宿のですね、整備事業ということで、整備を支援するというので、補助金を天草市で単独でつけてやりました。

これも42の今、宿泊業者さんが使っていただいて約6650万円の支出をさせていただきましたけれども、これによって、老朽化、施設の老朽化であるとか、あとはバリアフリーですね、そういうところを整備していただくということで、やはり単に宿泊券をですね、ばらまいて割引してですね、安い人たちをどんどん呼び込むというよりも、そのお金があるんだったら、もっと施設にしっかりテコ入れをしていきながら、来られたお客さんたちの満足感を高めていこうと。

やはりあの天草に来たらですね、もうクレームもいっぱい、やっぱりフェイスブック上とかネット上に上がってるんですね。部屋が汚かったとか、対応が悪かったとか、そういうようなところたくさん出て。せっかく一生懸命呼び込んだとしても、それが悪い評判になっていくと、何にもなりません。

ですから、そういうところをしっかりとやっていくことが、これからの天草の観光には大事じゃないかということで、そういう方向に支援の方も切り替えていっております。

どうかですね、その辺も皆さん方にはご理解を賜って、是非とも頑張って商売の方もやっていただければと思っております。

すみません、ちょっと長くなりましたけど、もう一つ最後にお話をさせていただきたいと思

ます。この天草をですね、私は世界で、本当にこの天草というのは、世界の天草にしていきたいというふうに思っています。

世界中から、この天草を憧れるように、そういう僕は天草であるというふうに信じておりますし、そういう場所でもあります。それをですね、守っていくのは皆さん方だけではありません。

これは市民の皆さんみんなが7万人ですね。そしてまた上天草を入れると、10万人の方々が、みんなが努力をして、この若さを磨き上げていく、そしておもてなしをしていく、そして美しく守っていく。こういうことが大事であります。

そういう中で、今日は観光協会の総会でありますけれども、観光事業者の方々は直接その恩恵にあずかれるわけですね。ですから、それに向けて当然、受け入れの人たちを、おもてなしをしっかりとやって、そして満足をしていただく。これは商売として当たり前のことではありますが、市民の皆さん方は、そういう皆さん方を応援するために日々、例えば、道をきれいにしたり、ゴミを拾ったり、そして花を植えたり、そしていろんな区役であってですね、天草を美しく守っていただいております。

これは先人たちからの僕は遺産でもあるというふうに思いますので、そういう努力をですね、ぜひ皆さん方には、自分たちのそれだけの恩恵を受けるわけですから、市民の皆さん方に対して、そして市それぞれの市町に対して、自分たちは何ができるのかということをご検討して、そこを行動に起こしていただきたい。

そして努力をしていただきたい。それができると、必ず天草っていうのはもっともっと良くなる。そして素晴らしいところになるんじゃないかなというふうに思います。

それと、そういうことをやっていくことによってですね、皆さん方が仲良くなって、そして喧嘩をせず、小さなパイを取り合うことなく、パイをもっともっと膨らまして、たくさんの人を呼び込んでいって、皆さん方が潤うように、そういう天草にしていこうじゃありませんか。

どうかそういう天草宝島観光協会になっていただきたいですし、そうあり続けていただきたい。そのための努力を皆さんにはお願いいたしまして、私からの今日はお祝いの挨拶と、そしてお願いのご挨拶とさせていただきます。

これからもこのですね、宝島観光協会、そしてまた皆さん方のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げます。私のお祝いの挨拶をさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。よろしく申し上げます。

(司会 金子)

ありがとうございました。続きまして、熊本県天草広域本部本部長増田要一様、お願いします。

(天草広域本部 本部長 増田要一様)

皆さんこんにちは。熊本県天草広域本部の増田でございます。市長の熱のこもったご挨拶の後なんで少々やりにくいところですが、本日はお招きいただき、本当にありがとうございました。藤本会長をはじめ、会員の皆様方には、日頃から県政の推進にあたり、ご支援ご協力いただきますこと、本当に感謝を申し上げたいと思います。そして、この天草の観光振興についてですね、ご尽力いただいていること、本当に敬意を表したいと思います。

若干ダブる部分はあるんですけども、今、会長のご挨拶にもあった通り、国内客よりも今、海外からのお客様が非常に熊本増えているという中で、宿泊者、観光客者、かなり高水準で今推移をしているという状況でございます。世界を見ると紛争とかもありますし、7月大地震が起こることだけでも、日本に来るのを躊躇される、遠くに泊まるということもありますけれども、それでも日本というのは非常に魅力的で、多くの方がこれからも入ってきていただけるんだろうと思っております。

この地元天草の方ではですね、二市一町、それから観光協会の皆様方にも参画していただいて、観光推進協議会を立ち上げ、今、VISIT天草プロジェクトということで様々な取り組みをさせていただいております。

昨年度もですね、国内外からの交流とか周遊、人口の拡大に向けた取り組みを行わせていただきました。その中でそのインバウンドについてもですね、我々協議会の取り組み、それから県の

事業も活用しながら、台湾の事業者やインフルエンサーを天草に呼んだりとか、あと現在、現地にてPRイベント等も行ってまいりました。

それから、宝島観光協会の方でも、台湾の方に県主催の事業に参加していただいて、取り組みを積極的に行っていたというところがございます。

ただ、そういう取り組みをする中で、現状として、じゃあ天草にドッと海外の方がお越しになっているかという、多分まだそこまでの実感というのは皆さんもないのかと思うところはあります。

実際受け入れるとなると、全て足りているのかというところになると思うんですね。飲食であるとか、宿泊のキャパの問題であるとか、グレードの問題であるとか、やっぱり地域の資源をいかにもっともっと磨き上げて、そういう皆さん方に魅力のあるものにしていくか、そういうものが多分求められているんだと思います。そういうのは一つ一つの事業者の皆様方でも、ぜひご努力をいただきたいというところもあるところがございます。

市長からもお話があったとおり、来年に向けてはサイクルイベント等も行ってまいります。観光協会の皆様もメンバーとして協議会の方に参画をしていただいておりますので、ぜひメンバーとして開催運営にぜひご協力、ご尽力をいただければと思っております。

さて、あの話は変わりますが、先週金曜日に天草市の方で一時間参りまして、お出かけ知事室というものを開催いたしました。

参加者は27名で、実際来られたのは25名でした。そのうち17名が高校生という、他にない高校生の数だったんですけども、いろんなことでテーマを知事の方と活発な意見が交わされました。それぞれに知事の方から一個一個お答えをしたわけですけども、その中に地域に対して臨むことという知事が話をされております。

少しご紹介するとすればですね、やっぱり天草ならではのもの、そこにしかないもの、あるものを探しましょうということを知事は申しております。

それから、人の成功をですね、喜ぶ社会にしていきたいなということをお話されております。他人の成功、喜び、一緒に何ができるか考え、連携していくというマインドを持つ地域にはですね、投資がしやすくなる。そういう意味でもですね、人の成功をしっかり喜んで、みんなで盛り上げていくそういう社会にしていきたいんだということを知事は申しております。

ぜひともですね、この天草宝島観光協会におかれても、個々の会員の皆様の頑張りをですね、ぜひみんなで応援しながら、みんなで盛り上がっていく、成長していくという観光協会です。ぜひいただければと思っております。

今後とも共にですね、天草地域の振興に取り組んでいきたいと思っております。結びになりますが、天草宝島観光協会の今後のますますのご発展それからご出席の皆様のご健勝をお祈りいたしまして、挨拶とさせていただきます。本日、総会の開催、誠にありがとうございます。

(司会 金子)

ありがとうございました。本日、ご臨席賜りました来賓の皆様をご紹介いたします。前列左よりご紹介差し上げます。

天草市長 馬場昭治様、熊本県天草広域本部本部長 増田要一様、熊本県観光文化部部长 脇俊哉様、熊本県議会議員 池田和貴様秘書 濱崎賢一郎様、一般社団法人九州観光機構国内誘致部長 笹井宣義様、公益社団法人熊本県観光連盟会専務理事 倉光麻里子様、天草市議会副議長 濱洲大心様、一般社団法人天草四郎観光協会理事 松本秀彦様、一般社団法人天草れいほく観光協会 代表理事 武林公久様、天草市商工会 会長 古賀源一郎様、天草経済開発同友会 会長 野上俊樹様、本日はご臨席いただきありがとうございます。天草市長、馬場昭治様におかれましては、公務のため、ただいまをもちましてご退席されます。ありがとうございました。

また、本日の総会に祝電をいただいております。お名前のみご紹介させていただきます。熊本県議会議員 西村尚武様、本文は会場後方にご掲出させていただきます、ご披露に代えさせていただきます。誠にありがとうございました。

それでは、会議に入ります前に、総会の定足数についてご報告いたします。議決権を有する正会員数458のうち、本日出席者52名、委任状の提出が286名で、合計338名となりました。

過半数に達しているため、会議が成立することをご報告いたします。議長については、当協会の定款17条により、議長は正会員の中から選出するとあります。いかがいたしましょうか。

ご意見なければ、事務局よりご提案してよろしいでしょうか。

(会員)  
全員賛成。

(司会 金子)  
では、ご提案いたします。議長をリースの花園、大中禎詞様をお願いしたいと存じます。ご異議ありませんか。

(会員)  
全員異議なし。

(司会 金子)  
それでは大中様、よろしく願いいたします。

(議長 大中氏)  
こんにちは。大中でございます。ただいま議長に決定しましたので、本総会の議長を務めさせていただきます。

では、これより会議を始めます。円滑な進行にご協力いただければと幸でございます。議事録の作成を事務局、本日の署名人の方、本日ご出席の天草エアラインの川崎さん、ヤヒログループの山本さん、よろしく願いいたします。では、着座して進行させていただきます。

なにぶん不慣れなんで、皆様のご協力よろしく願いいたします。

では、議案第1号、令和6年度事業報告並びに第2号令和6年度決算及び監査報告についての関連しておりますので、一括審議とさせていただきます。事務局に説明をお願いいたします。

(事務局長 中山)

はい、事務局長の中山です。お手元の通常総会資料をお開きください。

2ページをお願いします。議案第1号令和6年度事業報告について説明します。まず令和6年度の補助事業です。1番目として観光宣伝および観光客の誘致とありまして、1の(1)各種キャンペーンの実施および販売活動推進です。①として新規として観光宣伝CM、TVCMを制作し、放映をいたしました。②として各支部支部事業として(1)の各支部事業かなりのボリュームがありますので、本渡新和支部から始まり、3ページの牛深支部、有明支部、天草東支部、おめくりいただきまして、4ページに移りまして、中段五和支部下段に天草支部、最後に河浦支部とあります。

かなりのボリュームとなりまして、各支部、この一年間ですね、いろいろな催しをしてきておりますので、お時間のあられるときに後ほどお読み取りをお願いしたいと思っております。

(2)台湾現地商談会についてです。6年度でいきますと、10月および1月にですね、それぞれ商談会の方に参加をしております。

ページをおめくりいただきまして、6ページです。③の部会活動になります。3-1で役員改選としまして、9月の19日に合同正副副部会長会議を行いまして、各々4つの部会におきます各部会の役員としましては、その一覧表にあります通りの数方々になっております。6ページの下、3-(2)ホームページの統合ですけれども、旧部会のホームページが別サイト扱いになっておりましたが、右の元の観光協会サイトへ統合をさせていただいております。

7ページです。上段に天草朝食、こちらは事業費ゼロですけれども、ページ内容を更新してございまして、その令和以降ですね、ページビューがご覧の数となっております。

2番目、観光に関する調査研究ならびに情報の収集、提供です。まず、(1)で情報の収集ということで、各キャンペーンにおきまして、アンケート情報を収集し、分析等を行っております。対象となりますところは、天草伊勢えび祭りおよび天草生うに三昧が対象です。

3番目、観光客受け入れ態勢の整備ということで、まず情報媒体の作成で、ここは主に天草ラン

チガイドブックの改訂増刷を行っております。6年度は4万5千部を発行し、配布箇所はご覧のところに配布をさせていただきました。

おめくりいただきまして、8ページ上段ですね、観光客の受け入れ態勢整備ということで、令和6年度の取り組みとしましては、公式ホームページの運営、多言語自動翻訳機能も含めてですね、観光客を受ける態勢整備を行って、本会計の事業としてしております。内訳としましては、公式ホームページの運営、イラストマップの改訂増刷等々になります。中段ホームページのアクセス数、その下に月間のページビュー、下段は多言語化翻訳の月別閲覧数を掲載しておりますので、後ほどご確認ください。

9ページに移りますと、4番目、観光関係諸機関との連絡強調ということで、(1) 関係機関との連携事業ということで、6年度の取り組みとしましては、島の宝観光連盟、熊本県、近隣広域観光の連携を強化して、天草市への集客を図っております。内訳の①は南天草との連携で、出水、主に出水長島地域との連携となります。2番目が島宝観光連盟です。

3番目は天草宇土半島等々ということで、先ほどお話ありましたようにVISIT天草を含めですね、苓北町との観光連携事業等々を行ってきております。

ページをおめくりいただきますと10ページになります。ここからは特別会計の中身となります。まず1番目、着地型の旅行商品ということで、協会の公式ホームページで天草ツアーとして旅行商品の販売を行い、69名の参加をいただきました。

2番目の化石採集クルージングですけども、こちらは66名の参加をいただいております。2番目の業務委託費、こちらは旅行商品造成ということで、6年度中に3つ以上の旅行商品を造成するといったことになっておりまして、御所浦での2つのプラン、牛深での1つのプランを造成しております。

11ページにいきまして、中段は観光客の受け入れ態勢整備ということで、主に牛深の観光案内所の中身となります。6年の実績がそのような形で問い合わせ内容等々ありますので、後ほどご確認をお願いいたします。3番目の観光客の受け入れ態勢は、こちらを補助事業に移行しております。

4番目、崎津集落の清掃業務ということで、交流広場の定期清掃業務を受託しております。

5番目、宿泊客数調査ということで、市からの委託事業として、年度の天草市内の宿泊客数を調査しております。

6番目がチャリチャリの実証実験ということで、福岡や熊本で拡大しているシェアサイクルチャリチャリですね、こちらの実証実験を実施しております。ページをおめくりいただきまして、12ページ、最上段ポルトの委託料ということで、産業政策課との委託契約となっております、その受託料で委託をさせていただいております。

その他委託費としましては、まず1番目にクルーズ船の受け入れ対応ということで、フランスポナン社のクルーズ船の受け入れを昨年度は3回ですね、行っております。2つ目が冬の天草誘客推進協議会ということで、イルミネーションイベント、ロマンティックファンタジーを行っております。

最後、牛深ハイヤ保存会の事務局委託費ということで、年間の出演手配等々を行っております。

13ページにおきまして、自主事業になります。まず食のキャンペーンの一つ目は、春の第9回天草生うに三味でございます。ご覧の期間、店舗で行いまして、中段にある表が令和以降の売上推移その下が月別の売上推移、最下段が資源保護費ということで、こちらは令和4年度からの活動が始まってございます。

ページをおめくりいただきまして14ページ、こちらは夏から冬にかけての天草伊勢えび祭りということで、ご覧の開催期間17店舗で行い、中段に令和からの売上推移、その下が月別の売上推移を載せております。

③の井井フェアにつきましては、事務局を観光協会には置かず、店舗からの参加費で自主財源として行っておりまして、ホームページのPRを実施しました。冬の大王車えびは協議しておりますが、6年度は実施がございませんでした。

15ページです。委託費その他ということで、DMO推進費ということで、この宝島観光協会が、どのような、まずはDMOの中身を勉強しましょうということで、下呂温泉観光協会の瀧会長をお招きしまして、講演会を実施して、理解を深めたところがございます。

以上、令和6年度の事業内容のご説明となります。続きまして、決算につきましては、総務部山崎の方からご説明申し上げます。

(事務局 山崎)

16ページをご覧ください。貸借対照表、資産の部、流動資産、現金及び預金153万1377円、流動資産合計428万4671円、資産の合計658万4681円、流動負債合計658万4305円、正味財産合計376円、負債及び正味財産合計6,584,681円

次の17ページにまいります。一般会計正味財産増減計算書経常収益受取会費537万円。受取補助金等4346万8000円経常収益計5000万5万1405円経常費用、事業費2364万4077円、観光宣伝費1879万7577円、観光客受入態勢整備費4,24万3,318円、管理費2,991万7,595円経常費用計5,356万1,672円、当期経常増減額マイナス351万267円、

18ページにまいりまして、当期一般消費財産上限額マイナス3,510,267円正味財産期末残高376円となっております。

19ページが特別会計の貸借対照表になります。資産の部、流動資産、現金及び預金3000万65万1,374円、流動資産合計3,597万2,399円、負債の部、流動負債合計577万9,540円正味財産合計300万19万2,859円、負債及び正味財産合計3,597万2,399円。

20ページにまいります。特別会計正味財産増減計算書、経常収益、事業収益3,524万4,232円、そのうち業務受託料収入2,785万9,200円、経常収益計3,525万6,103円、経常費用、①事業費3,177万5,201円、業務委託費1230万飛んで8279円、経常費用計3,340万8,170円、当期経常増減額184万7,933円、一般正味財産期末残高3,000万19万2,859円、正味財産期末残高3,000万飛んで19万5,859円となります。

(議長 大中氏)

はい、ありがとうございました。それでは、令和6年度収支決算について監査をお受けしておりますので、監事より監査報告をお願いいたします。

(監事 本田氏)

こんにちは、監事の本田でございます。資料の22ページをお開きください。私の方から監査報告をさせていただきます。

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査につきましては、私と近藤監事2名で監査を行いました。監査の結果は報告書のとおりでございますが、事業報告及び附属明細は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

また、理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。

次に、検査書類及び附録明細書並びに財産目録の監査結果につきましては、これらの書類は、当法人の財産及び正味財産増減の状況を、全て重要な点におきまして、適正に表示しているものと認めます。以上、ご報告させていただきます。

(議長 大中氏)

ありがとうございました。ただいま事務局より説明がございました。ご意見、ご質問をお受けいたしますが、発言は主旨を明確に、また端的にお願いをしたいと思います。その際には、氏名、お名前をお教えください。それでは、ただいまの事業報告並びに決算報告につきまして、ご質問ご意見あります方、どうぞ挙手をもってお願いいたします。はい。山本さんお願いします。

(会員 山本氏)

はい。

本渡支部山本と申します。質問が3つあるんですけれども、一つずつ答えていただいた方がいいでしょうか。全部質問をして答えてもらう形がいいでしょうか。

(議長 大中氏)

質問の内容によりますから。

(会員 山本氏)

一つずつ聞かせていただきたいというふうに思います。まずですね、事務局に質問なんですけれども、総会の資料の2ページ、テレビコマーシャルを作られたということだったんですが、私が

あまりテレビを拝見しないので、テレビでどれぐらい放映されたのか、それとホームページとかYouTube、そういったもので作られたテレビコマーシャルが見ることができるのか、これをちょっと質問したいと思います。あと一点です。

(議長 大中氏)

じゃあ、その質問に対して回答をお願いします。

(事務局長 中山)

はい、お答え申し上げます。テレビ熊本からの放送確認書によりますと、3月28日からスポットでの放映を開始しております、3月中に56本、こちらはイメージCM春夏戦で、イベント情報はなしの状態です。4月で74本、春夏、こちらはウニ三昧が始まっておりまして、最後にイベント情報を掲出しているものが放映確認をしております。

また、CM映像におきましては、その他、熊本市経済観光局、観光交流部、観光政策課を通じて城彩苑のデジタルサイネージでも放映しております。また、令和7年度につきましては、現在、天草市と予算等の調整を行っており、目処がつき次第、CM放送を再開していく予定となっております。

加えて、YouTubeにもアップしておりますので、4種類、CM、15秒のCMが見ることができますので、皆さん、検索してご確認をお願いいたします。以上でございます。

(議長 大中氏)

それでは質問をよろしいでしょうか。

(会員 山本氏)

はい、ありがとうございました。続いてですね、これも事務局への質問です。ページ数でいうと、10から11旅行商品を3つ造成されたというふうに書かれていたんですけども、実際どれぐらい売れて、どれぐらい利用があったのかというその利用件数を教えていただければというふうに思います。

(議長 大中氏)

では事務局回答をお願いします。

(事務局長 中山)

お答えいたします。令和6年度までがですね、造成までといったことになっておって、まだ令和7年度からの販売開始となっております。

この総会でですね、正式にご承認いただいた後に契約等の手続きを進めてまいります。なので宿泊実績カウントは今年度からとなります。

来年のデスティネーションキャンペーンと合わせて進めていきたいというふうに考えております。以上でございます。

(会員 山本氏)

はい、ありがとうございました。

(議長 大中氏)

はい、第3の質問をお願いします。

(会員 山本氏)

3つ目ですね。こちらは藤本会長にご質問です。23と24ページですね。昨年、支部の統合とか廃止に向けてですね、進めていくというような話を、私が理事の時に話をされていたんですけども、今回、支部の全体会の時にはそういうお話が全く出てこなかったもので、その本部の理事会の方で、その支部の統合ですとか、廃止に向けての話し合いというのは進んでいるのかどうかですね、そこをちょっと教えていただければというふうに思います。

(議長 大中氏)

藤本会長よろしいでしょうか。

(藤本会長)

こちらはですね、総務委員会の方に付託しておりまして、総務委員会の方で協議しておいた事項でございます。統合まではいきませんでしたけれども、今回各理事の定数の削減には至った経緯であります。また今後も統合に向けてはまた総務委員会の方で協議していこうと思っております。よろしいですかね。

(会員 山本氏)

はい。そしたらその総務委員長の方に少し説明をしていただければ。

(総務委員長兼副会長 金子氏)

はい。総務委員長を仰せつかっておりました天草東支部の金子です。今、山本さんの方から、支部長が集まる会議ですね。その前に、支部の統合問題に関しましては、約3年ほど総務委員会の方で審議いたしまして、今の段階では、令和7年度の総会に提出する段階では、もう少し時間をかけて審議した方がいいんじゃないかなというご意見が多かったものですので、今回の総会にはしていませんけれども、理事会の方にはそのような報告をいたしまして、了解を得ております。

ただ、なかなか総務委員会の中でもですね、各支部長全員が揃うということはございませんでした。総務委員会をしたときには、その問題に関しましては審議しております。以上です。

(議長 大中氏)

よろしいでしょうか。

(会員 山本氏)

はい、ありがとうございます。それではその会長の方針というか、方向性とすれば統合したり、支部を少しずつまとめていこうという考えは変わりがなく、進めている段階というふうに受け取って大丈夫ということでしょうか。

(藤本会長)

はい。

(会員 山本氏)

はい、わかりました。ありがとうございます。

(議長 大中氏)

よろしいでしょうか。はい、ありがとうございました。他に質問ご意見ございませんか。よろしいですかね。じゃあ質問ご意見ございませんようですので採決に移りたいと思います。令和6年度事業報告並びに収支決算の承認について、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(会員)

挙手多数

(議長 大中氏)

はい、賛成多数と認めます。よって、この議案第1号、第2号は承認されました。ありがとうございます。それでは、議案第3号、定款変更についての議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

(事務局長 中山)

はい、説明申し上げます。議案の第3号ということで、資料23ページをご覧ください。定款変更(理事数の変更)とあります。提案理由としましては、先ほど来お話出ております令和6年度第3

回理事会におきましてですね、総務委員会から理事数の変更に関する提案がありまして、第4回理事会において承認をいただいております。それに伴いまして、定款変更の必要があるためといった中身でございます。

定款の抜粋といたしまして、現行の中身が上段にありますけども、役員の数ですね、理事は15人以上25人以内、監事が1人以上3人以内、理事のうち1人を会長5人以内を副会長1人を専務理事とすることができるとあります。改正案としましては、理事数の変更といった中身で、理事の数を10人以上17人以内、監事を1人以上3人以内、理事の会長、副会長の文言は変更がございません。

そういったことをご承認いただきましたので、現行の各支部の理事数を7支部プラス1市23名および、そこにしたのが書いてございます。

ページをおめくりいただきまして、24ページこちらが改正案になります。こちらは先ほど支部の統合はなかなか叶わずということで、8支部に増えております。8支部プラス天草市および会長推薦といったことで、先ほどの23名からトータル16名といったところで、理事数の変更といった内容でございます。説明は以上でございます。

(議長 大中氏)

はい、ありがとうございます。ただいま事務局より説明がございましたが、この件につきまして、ご意見ご質問をお受けいたします。発言は挙手をもってお願いいたします。

では、質問がないようですので、採決に移りたいと思います。理事数変更についてご承認いただける方は、挙手をお願いいたします。

(会員)

挙手多数

(議長 大中氏)

ありがとうございます。挙手多数と認めます。よって、議案第3号は承認されました。議案第4号役員の改選についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

(事務局長 中山)

はい、ご説明申し上げます。議案の第4号ということで、資料の25ページをお開きください。役員の改選についてということで、提案理由としましては、理事の任期は2年で、本年度が役員改選となるためです。

定款の抜粋がございますけども、先ほどの議案第3号でご承認いただきました中身が第22条に反映してございますので、あらかじめご承知おきください。その25ページは主に定款が載っておりますので、後ほどご確認いただければと思います。

ページをおめくりいただきまして、先ほどと同じような中身となりますけれども、現行であった各支部の人数が上段、改正案が下の段で支部の数が増えておりますけれども、そういった形で役員の改選を行うということになります。はい、説明は以上でございます。

(議長 大中氏)

はい、ありがとうございます。本来であれば、理事候補者お一人お一人に対しての議決が必要となることではありますが、もし皆様方のご了解をいただければ、役員候補者の紹介の後、一括審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(会員)

全員異議なし。

(議長 大中氏)

ありがとうございます。ご異議ないようですので、一括して審議することといたします。事務局より役員候補者の紹介をお願いいたします。

(事務局長 中山)

はい。資料の27ページをご覧ください。そこに理事候補者名簿がございます。

それではお一人ずつご紹介をさせていただきます。本渡新和支部の4名の方から、まずは中田勝也様。続きまして山下修平様。続きまして平下豊様。本日はご欠席です。4人目近藤和泰様、以上4名が本渡新和支部でございます。続きまして、牛深支部に移ります。まず、江崎航様。続きましては欠席となりますが、深川隆一郎様でございます。続きまして有明支部1名でございますが、松本國雄様、こちら急遽、本日ちょっと欠席となっております。続きまして、栖本倉岳支部1名、小川和生様、ありがとうございます。御所浦支部1名、竹地克夫様。先ほどちょっとお見えだったと思うんですけど。続きまして、五和支部、まず田口京重様。続きまして、野崎多喜子様。天草支部に移ります。まず、藤本貴士様。続きまして、木下雅貴様。続きまして、河浦支部、吉田隆一郎様。最後、天草市松崎義文様。

ご覧の表の中で星印の方が新規の方になります。

続きまして、監事候補者の名簿になります。まず、近藤雄一様。続きまして、本田一様。

最後、顧問、泉廣幸様でございます。はい、ありがとうございます。以上が、理事候補及び監事候補の方々のご紹介となります。はい、説明は以上でございます。

(議長 大中氏)

ありがとうございます。それでは皆様にお諮りをいたします。まずご意見ご質問ございます方、どうぞ挙手を持ってお願いいたします。

(会員 山本氏)

はい、すみません。初めての方のうち、何をされている方かがわからないので、できれば会社名とか、その職業とかがあるとちょっとわかりやすいかなと思いますが、これはもう意見ということですか。はい、以上です。

(議長 大中氏)

はい、ありがとうございます。他にご質問ご意見ございませんか。

それでは事務局、後ほどあの、わかるようでしたらば、お願いいたします。はい、では、お諮りいたします。新役員につきましては、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(会員)

挙手多数。

(議長 大中氏)

はい。賛成多数として、よって理事及び監事候補については原案どおり可決をいたしました。なお、これまで役員を務めてこられ、この度辞任をされた皆様にご起立をいただきたいと思えます。これまでのご苦労に対し、心よりのねぎらいの拍手を送りたいと思えます。どうもお疲れ様でした。

(会員)

全員ねぎらいの拍手。

(議長 大中氏)

はい、ありがとうございます。さて、新しい役員が承認されましたが、事前に承認された後に理事会を開催し、会長を決定したいと思います。役員の皆様は別室にご移動をお願いいたします。その間、本総会は暫時休会といたします。皆様、どうぞご理解のほどお願いいたします。なお、時間の方は決めますか。今ちょうど4時なんですけど。

(事務局長 中山)

4時半にしましょうか。じゃあ10分。

(議長 大中氏)

予定としては4時10分に戻ることで皆様ご理解よろしくお願いいたします。

(事務局長 中山)

新理事予定者の方は隣の部屋にご移動お願いします。

(司会 金子)

それでは休憩といたします。10分後に再開する予定です。よろしくお願いいたします。

《総会再開》

(議長 大中氏)

それでは会議を再開いたします。理事会の協議内容につきまして、事務局に報告をお願いいたします。

(事務局長 中山)

先ほど行いました理事会におきまして、ご報告をいたします。会長には藤本貴士さんが選出されました。

(会員)

全員拍手。

(事務局長 中山)

続きまして、副会長5名を紹介いたします。まず、山下修平様。続きまして、江崎航様。続きまして、田口京重様。続きまして、野崎多喜子様。続きまして、木下雅貴様。

(会員)

全員拍手

(事務局長 中山)

以上5名が副会長となります。よろしくお願いいたします。

(議長 大中氏)

はい、新しい体制となりました。どうぞ皆様、改めて大きな拍手をお願いいたします。

(会員)

全員拍手

(議長 大中氏)

それでは、総会を開会いたします。報告第1号、令和7年度事業計画及び収支予算案書について、事務局よりご報告をお願いいたします。

(事務局長 中山)

はい、ご説明申し上げます。資料の28ページをお開きください。報告第1号令和7年度事業計画及び収支予算についてです。まず、令和7年度の基本方針を記載してございます。

地域との共創と連携による観光プロモーション活動です。雲仙天草国立公園70周年を控え、イルカウォッチングや世界文化遺産登録の崎津集落、海の幸や温泉など観光素材のブラッシュアップと情報発信を行うとともに、インバウンド対応を含めた積極的なプロモーションを近隣地域と連携しながら行うとしています。

地域との連携と共創ほか1から4まで主な4つの柱がありますので、後ほどご確認をお願いしたいと思っております。それでは事業内容の説明になります。

29ページをご覧ください。まず、令和7年度の補助事業です。観光宣伝および観光客の誘致ということで、(1)各種キャンペーンの実施および販売活動推進で、①の観光宣伝CMにつきましては、先ほど6年度の報告でありました2種春夏のですねテレビCMを通年で放送し、天草のイメージを主に県内にアピールし、食のキャンペーンなどの開催時期には、その開催中であることを伝えて、

全体的なイメージ向上とキャンペーン告知を兼ねた観光宣伝を実施するとあります。

②の各支部事業、こちらは予算希望のみ記載してございます。③部会活動、こちらは令和7年度の活動として合同正副部会長会議を開催して、方針を決定してまいります。各部会役員一覧はご覧の通りとなります。

ページをおめくりいただきまして30ページです。上段は天草朝食ということで、こちらも引き続きページ内容を更新する形で進めてまいります。

2. 観光に関する調査研究並びに情報の収集・提供です。(1)は情報の収集ということで、今年度の取り組みとしましては、イベントキャンペーンで収集したアンケート情報から属性分析、あとターゲットを明確にしてまいります。SDGsに配慮しながら、精度の高い集客を図ってまいります。インターネットを活用したアンケート調査及び従来からの紙アンケートも引き続き併用していきます。今のところターゲットとしましては伊勢えび祭りとうに三昧となっております。

続きまして3番目は観光客受け入れ態勢の整理ということで、情報媒体の作成で、こちらもランチガイドブックを引き続きですね、改訂増刷をしてまいります。6年の実績は先ほど申し上げましたとおり4万5000部で、配布した場所はご覧の各所となります。

(2)の観光客受入態勢整備です。こちらは今年度の取り組みは、特別会計から補助事業に移行しております。ホームページの多言語化含めたイラストマップの作成等々、インバウンド関連業務を担ってまいります。

31ページの上段にいただきまして、内訳としましてはご覧のホームページと多言語化、インバウンド関連、イラストマップの改訂増刷およびパンフレット活動などとなります。

最後4番目は観光関係諸機関との連絡協調です。今年度の取り組みですけれども、島の宝、熊本県および近隣周辺地域との交流を深めて、広域観光の連携を強化して集客を図ってまいります。

①南天草の連携ということでは、出水長島地域を相手にですね、観光推進協議会とシャトルバス促進協議会を進めてまいります。島の宝観光連盟ですけれども、そこに記載してございます、今年度もって一旦は目的を達成したということで、全体会で可決し、今回解散をするといったことの中身となっております。

3番目、天草宇土半島および周辺地域の観光協会との連携に係る事業ということで、大きくはVISIT天草プロジェクト、天草地域観光推進協議会、苓北町観光連携事業実行委員会、主にはレンタサイクルですね。

あとは、先ほどありました来年度がグランフォンドの本大会、今年12月にプレ大会が開催されることとなっております。ページをおめくりいただきまして、ここからは特別会計となっております。

まず着地型の旅行商品ということで、こちらは6年度内に新たに作った3つのコースを追加してですね、販路の拡大認知向上を図ってまいります。2番目の化石採集クルージングは、こちらは今年度からですね、県からの委託事業からプロポーザルを経ての事業者決定ということで、従来担当としてですね、企画できるようなプロポーザルに参加していこうというふうになってございます。

2番目が業務委託費です。こちらは観光資源開発保護育成ということで、また新たにですね3つ以上の旅行商品を作って販売を開始しようということになっております。従来通り体験と宿泊をセットにした形で滞在時間の長いプランを提案していこうということになります。2-2番目が観光客受入態勢整備、牛深の観光案内所です。

道の駅うしぶか海彩館内の案内所の管理を受託しております。こちらは天草の南の玄関口の牛深港に隣接しておいて観光客の利便性に寄与してまいります。3番目の崎津集落清掃業務は引き続き、崎津観光交流広場の定期清掃業務を受託してまいります。4番目の宿泊客数調査も、こちらも引き続き天草市からの委託事業で4月から3月までの天草市内112の宿泊施設の宿泊客数を調査してまいります。5番目ポルト委託料、こちら若干委託料は変えていただいておりますけれども天草宝島国際交流会館ポルトの管理業務を受託してまいります。6番目のチャリチャリ実証事業は、ポート数を今年度9か所から20か所、自転車の台数も30台から60台に増加させて、利用促進を図っていくこととなります。

33ページをご覧ください。その他の委託費としましては、クルーズ船の受け入れ対応としまして、もうすでに終わっておりますけれども、4月の16と20日ですね、こちら計2回受け入れをしております。

その他の2番目が冬の天草誘客推進協議会ということで、引き続き、あまくさロマンチックファ

ンタジーのイルミネーションイベントを推進してまいります。うしぶかハイヤ保存会につきましては、年間の事務局業務を受託し、出演手配等を引き続き行っていきます。

ページをおめくりいただきまして、自主事業費となります。まず1番目が食のキャンペーンでして、こちらもう5月末で終わってございますけども、第10回の天草生うに三昧ということで、すでに4月1日から5月31日で13の店舗で行いました。中段に売上推移、その下に月別の売上、最後に環境保護費と載せております。

35ページですけども、こちらは、これは夏から冬への食のキャンペーンということで、天草伊勢祭りです。こちら今のところ8月の下旬から12月の下旬、宿泊施設、前後するかもしれませんが、17店舗前後で行っていくようになります。令和以降の売上推移、月別の売上推移を参考で載せております。秋から冬の井井フェアにつきましてはCM関係をこちらで担当させていただきますけれども事務局は観光協会の中には置かないといった形で独自の自主財源で開催ということになります。

最後の4番目は天草大王と車えびは今年度にしましては今現状では不明といった中身です。36ページをご覧ください。委託費としまして、DMO推進費といったところで言いますと、令和6年度の勉強会を経て、今後当協会としてどうあるべきかの引き続きを検討してまいります。

弁護士顧問料としましては、当協会で契約と締結された弁護士及び顧問に関しては引き続き継続してまいります。以上が令和7年度の事業計画の説明となります。続きまして、収支予算につきましては、総務部山崎よりご説明申し上げます。

(事務局 山崎)

はい、37ページになります。令和7年度の一般会計の収支予算になります。経常収益、受取会費560万5千円、受取補助金等4,846万8千円、経常収益計5,484万2千円、経常費用、事業費2,533万3千円、そのうち観光宣伝費が1,951万9千円、管理費2,950万9千円、経常費用計5,484万2千円となっております。

続きまして、特別会計の収支予算書になります。ページ数で言いますと39ページです。経常収益、事業収益、2,997万6千円。そのうち旅行商品販売事務手数料が354万円、業務受託料収入が2,172万1千円、経常収益計、3,000万飛んで1万9,230円、経常費用、事業費3,277万5千円そのうち旅行商品販売事業が300万、業務委託費763万5千円、自主事業費300万、経常費用計3,477万5千円、当期経常増減額マイナス475万5,770円になります。40ページの最後、正味財産期末残高も同じくマイナス475万5,770円となります。以上です。

(議長 大中氏)

はい、ありがとうございました。ただいま事務局より説明がございました。このことにつきまして、皆様方のご意見ご質問をお受けいたします。どなたかご質問ご意見ございませんか。

(会員 山本氏)

はい。

(議長 大中氏)

はい。お願いします。支部名と名前をお願いいたします。

(会員 嶋田氏)

はい。本渡支部の嶋田と申します。質問事項なんですけど、31ページをご覧ください。31ページの一番下のところにですね、天草グランfondプレ大会という大会があるんですけど、先ほど自転車のイベントということで、自転車のイベントって言われれば、自転車のイベントなんだなと気づくんですけど、私が聞いたところでは、グランfondというのはあくまでも仮の名前ということを知ってたんなんですけど、これが正式名称になったのかどうか、どなた分かる方がいらっしゃれば。

(議長 大中氏)

はい、これは事務局から答えられますか。

(事務局長 中山)

はい。今、嶋田さんがおっしゃった通り、ご指摘の通りなんですけども、グランフォンドは仮称、カッコ仮称ですね、正式名称、もしよろしければ、増田本部長、もしお分かりになればお願いしたいと思うんですけども、よろしいですか。

(熊本県天草広域本部 本部長 増田氏)

はい、すみません。このグランフォンド大会については、我々が事務局を、協議会の方で対応していますので、私の方からお答えをさせていただきます。グランフォンドというのは、要は長距離の自転車に長距離に乗るという意味ですので、これがいいかなというところで、今、仮称でつけているので、もうすぐ本決まりになるかと思えます。よろしくお願ひします。

(議長 大中氏)

よろしいでしょうか。

(会員 嶋田氏)

はい、仮称ということで。

(議長 大中氏)

他にはございませんか。

(会員 山本氏)

はい。

(議長 大中氏)

お願ひします。山本さんお願ひします。

(会員 山本氏)

すみません、今度は4つあります。はい。1つずつまたお答えいただくかなというふうに思います。まずは事務局への質問です。33ページ。牛深ハイヤ保存会の事務局ですね。その委託費が昨年15万から、本年度は10万というふうに計上されているんですけども、私が会長した時に事務局を受けるというのが、事務スタッフにもすごく大変な労力を、いろんな団体の受けてたので大変だったので、それに見合うお金をいただくという風に変えて交渉をずっと行ってたんですけども、今回このハイヤが15万から10万に減ったのは何でなのか、そしてその10万円で年間委託料が10万円で大丈夫なのかどうかを事務局の方にちょっとお尋ねをしたいなという風に思います。

(議長 大中氏)

はい、ありがとうございます。事務局、回答をお願いします。

(事務局長 中山)

はい、ハイヤ保存会の事務局の委託費の件ですけども、正直申し上げますと、賄い手はない。半分というか半分以上、ほぼほぼボランティアでございまして、その金額が下がった原因としましては、令和4年から6年までの3か年の平均値で、今回このような設定となっております。以上でございます。

(議長 大中氏)

では、10万円でもやります！という事ですか。

(事務局長 中山)

やらざるを得ない。

(議長 大中氏)

じゃなくて、やっぱり契約してやらないといけないので、大丈夫です！ぐらい言わないと。

(事務局長 中山)

大丈夫です。

(議長 大中氏)

はい、じゃ第2の質問お願いします。

(会員 山本氏)

はい、ありがとうございます。2番目はですね、執行部への意見なんですけれども、35ページ特別会計の自主事業の中にですね、井井フェアが入っております。いろいろ紆余曲折ありまして、昨年度から伊勢えび祭り以外の食のキャンペーンというのはですね、それぞれが自主財源でやるか、もうやらないようにするかというふうな話になりました。

まあ、大まかに言うんですね、市からの補助金で行ってた事業なんですけれども。その補助がなくなったので、協会の特別会計ですね、観光協会の会費でやり続けるかどうかというふうな協議を実行委員長を呼ばれて話をした時に、特別会計を使い続けていたらですね、枯渇してしまって、もうすぐ事業ができなくなると。

そして市の方からもですね、ずっと永遠に補助し続けるのは違うというふうなことは、私が会長の時もずっと言われていたので、独立をして、自分たちでお金を出し合ってやるようにしようというふうな話をしましてですね、昨年、勝手に井井フェアという名称で、自分たちで自分たちの事業として行っております。

そういう経緯を含めた上でですね、今回も特別事業、自主事業の中の特別会計で観光協会の事業として紹介されるのは、ちょっと納得がいかないですね。

これはもう独立をしたと。観光協会の中ではやめるというふうな決断だったので、有志でもう一回やろうというふうに立ち上がった事業ですので、観光協会の事業として紹介というのはちょっとやめていただきたいなど。

ただ、喧嘩別れしたわけではなくてですね、先ほどからずっと言っているように、天草市からずっと補助を受けながらですね、やり続けるのもおかしいなど、自分たちでお金を出し合ってやれるんじゃないかなと思って始めた事業です。

観光協会様にもですね、天草市様にも宣伝の方はよろしくお願いしますというふうに話をしましたので、今回の内容的に見てですね、観光協会の事業だなと取られやすいというふうに思いますので、これを外していただけたらありがたいなど。これはもうご回答はなくてもいいです。そういうふうな私からのお願いです。

で、3つ目ですね。36ページ、今回はですね、顧問の泉さんには来ていただいているんですけども、弁護士の方もですね、実際いらっしやって、なかなかお会いする機会がないんですよ。なので、その弁護士の方の紹介文と、あとここに来ていただいて、お顔を見せていただければ、ちょっとありがたいかなあ。ああ、いらっしやるんですね。

すみません、あの、私が会長の時もですね、お会いしたことがないんですよ。事務局の方が手続きをずっとしてくれてたので。なので、私の中でもすごい謎な人物 だったので、はい、すみません、ありがとうございます。ご無礼をいたしました。

ご紹介をですね、こういう経歴ですとか、そういう紹介をしていただけたら、ご紹介していただけたら、皆さんにも顔が分かったりとかするんじゃないかなと思いますので、これは後からでも分かれば、やっていただければというふうに思います。

4つ目ですね、ちょっと重くなるんですけど、はい、すみません、これは会長に質問です。先ほど井井フェアの話をした時にですね、伊勢えび祭り、これはやはり売り上げがですね、2億円ぐらいあるんですね、すごいイベントというか、フェアなので、観光協会の特別会計からですね、お金を出してやり続けていいんじゃないかというふうにその食のキャンペーン実行委員長が呼ばれた時に私も発言をしました。

まあ井井フェアとかですね、生ウニ三昧とか、その他のやつの売り上げの10倍ぐらいはあるフ

エアなので、市の補助金がなくなったからといって、なくなったらこれは大変だろうと。なので観光協会でもお金を出してやるべきじゃないかなというふうに発言をさせていただいたんですけども、今回も見てみるとですね、特別会計から300万。そして自主財源、自分たちの出し合い分が76万という風な比率になっていてですね。

いやらしい話ですけど、2億円売り上げがあるのであれば、その中の1%で200万ぐらいにはなります。なので、伊勢えび祭りを行っているそのホテル関係でですね、売り上げの1%ぐらいはみんな持ち寄って出すことはできないんだろうかと。

で、観光協会から200万、そして半分半分で400万になりますので、それぐらいでやっていったらですね、いいんじゃないかなというふうに私が個人的に思っています。

あの観光協会の会長でありですね、伊勢えび祭りの実行委員長も兼ねられているのですね、どうしても私物化しているように見えてしまうなというふうに思うんですね。

ですので、経緯を分かんない方は、そういうふうに思われた方もたくさんいらっしゃるんじゃないかなと思ってんですけども、その色々な食のキャンペーンがなくなったのは、そういう経緯もありますし、伊勢えび祭りは応援をしていかないといけないお祭りだと思うんですけども、それでもやはり自主財源比率というのを上げて考えていただければ、もう少し財源は集まるんじゃないかと。

余談ですけども、昨年、井井フェアを行いましてですね、参加店舗が9店舗でした。10万円の宣伝費というか、チラシを作るのに10万円かかりました。なのでマイナス1万円、そして売り上げに対して一杯50円いただくというのを了承していただきまして、8000杯ほど売れましたので、16万円分ぐらいですね、原資が集まりました。

なので、今年は今のところ参加店舗が15店舗ぐらいになりそうなので、その参加費と合わせて30万円ぐらいはスタート時に持てるのですね、チラシだけではなくて、今回はチラシのほかにも宣伝費に回すことができるんじゃないかなというふうに思いながら事業を進めております。

ですので、これは伊勢えび祭りの実行委員長としても。会の会長としてもですね、そういうふうな形でできないかどうかですね、そういうふうなお考えはないか、会長の方にお尋ねをしたいというふうに思います。できればそのようにやっていただきたいという願望もありますので、よろしくお願いいたします。

(議長 大中氏)

では、藤本会長お願いします。

(会長 藤本氏)

早速ですね、来月7月上旬に伊勢えび実行委員会開催するようにはしておりますので、ちょっとその中でちょっと今の山本さんのご意見の方で進めたいと思っております。

まあ言われるように、天草は食のコンテンツは非常に強い部分ありますから、年間通じて伊勢えびはじめ、ウニはじめ、色んなアワビをはじめ、他の地域にない要素ですから、これ全面に打ち出してですね、一人でも多く天草に来ていただいて、あと泊まるだけではなくて、色んなレジャー、お土産、色んなイルカウォッチング等、利用されますので、経済、天草経済効果といえれば相当な底上げにつながると思いますので、引き続き食に関しては力を入れていきたいと思っております。

(会員 山本氏)

はい。ぜひ前向きに皆さん出し合えるようによろしくお願いします。

(議長 大中氏)

貴重なご意見ありがとうございました。他にはございませんか。

はい、お願いします。支部名とお名前の方をよろしく願います。

(天草市観光振興課課長 松崎理事)

天草市の松崎でございます。はい。あの1つ確認なんですけど、えっと40ページのですね予算書なんです。これの一般正味財産の期首の残高がゼロとなっております。まあその関係で期末はマイナスになってるんですけど、ここは間違いないでしょうか。

(事務局 山崎)

結局ですね、ここマイナス470万というのは、300万の自主事業費と業務委託費の170万がマイナスに合計470万になっておりますので、そこは2つ合わせてこちらの特別会計から持ち出すような形にマイナスで予算を組んでおります。

(福岡税理士事務所 坂田税理士)

すいません、税理士の坂田ですけど、えっとですね、ちょっと今のご指摘の件ですけども、あの、はっきり、間違えてます。あのですね、決算した方ですね、特別会計がありまして、その特別会計の貸借対照表の一番下にですね、当期の分の正味財産合計3000万飛んで19万2859円とありますね。この金額がそこに来なきゃいけないですね。はい、以上です。

(議長 大中氏)

記載ミスということですか。

(福岡税理士事務所 坂田税理士)

そうです。

(議長 大中氏)

記載漏れですか。

(福岡税理士事務所 坂田税理士)

はい。

(議長 大中氏)

よろしいでしょうか。

(天草市観光振興課課長 松崎理事)

期末の残高プラスになりますということでしょうか。

(福岡税理士事務所 坂田税理士)

はい。

(天草市観光振興課課長 松崎理事)

わかりました。

(議長 大中氏)

はい、ありがとうございます。他にご質問ご意見ございませんか。

(事務局長 中山)

先ほど山本さんからの質問で、井井フェアの件ですね、おっしゃっていただいた通り変更をしようと思います。あと田中弁護士のご紹介ですね。一言ここでせっかくいらしてしますので、一言ご挨拶ですね、プロフィール簡単なご紹介をお願いします。

(田中弁護士)

すみません、ご挨拶遅れました。私、令和5年10月から、この協会の顧問弁護士をしております、あまくさ法律事務所です。弁護士をしております、弁護士の田中と申します。去年から総会には出席をいたしております。あの、なかなか、すみません、この2年間、まあ2年半ですね、内部で起きた、契約書のチェックとか、労働問題等についてですね、法的な立場でこう助言させていただいております。今年度もまた引き続き顧問弁護士をするということですのでまたえ少しでも顔を覚えていただければと思います。またよろしく願いいたします。

(議長 大中氏)

はい。ありがとうございます。

それでは他にご意見なければえ報告第1号につきましては以上とさせていただきます。

これにて全ての議事が終了いたしました。皆様のご協力で令和7年度通常総会を無事終了することができました。これをもって議長の任を解かせていただきます。皆さまご協力ありがとうございました。

(司会 金子)

大中様、大変ありがとうございました。大中様に今一度大きな拍手をお願いします。それでは、事務局より連絡事項等などありましたらお願いします。

(事務局長 中山)

はい、申し上げます。牛深ハイヤ保存会の方から一言宣伝がありますので、西嶋さん、よろしくお願いいたします。

(牛深ハイヤ保存会 西嶋氏)

牛深ハイヤ保存会の西嶋と言います。先ほど、保存会の話もありまして、少ない委託費で大変申し訳ないんで、頑張ってみたいと思いますので、支援よろしくお願いします。お手元にですね、牛深高等学校の今年は香川県であります全国郷土芸能部34名になりまして、ぜひ寄付をお願いしたいなということと、裏にTシャツがございます。オリジナルのハイヤTシャツでございまして、これをぜひご購入いただければありがたいなということでございます。

申込書も一緒に添付しておりますので、ぜひお願いしたいと思います。寄付の方は、私と今日はですね、もう一人、女性の方と入り口のところで募金箱で募集したいと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

やはりあの、この観光協会も一緒に、我々はハイヤを通じて天草の宣伝PRをすでにやっておりますので、もうハイヤというのはもう郷土芸能の一番賑やかなものでございます。天草の宝かなと思いますので、ぜひお願いしたいなと思いますので、よろしくご協力よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(司会 金子)

他に何かございせんか。懇親会にご参加される皆様にお知らせいたします。この後、5時より懇親会を隣の会場で行います。ご参加いただける方は、5時までにご移動をお願いします。それでは、閉会のご挨拶を山下修平副会長が申し上げます。よろしくお願いします。

(副会長 山下氏)

皆さんこんにちは。引き続き副会長を仰せつかることになりました。天草プラザホテルの山下と申します。先ほどご挨拶でありましたように、熊本観光というのは非常に盛り上がりを見せているところなんですけれども、天草、とりわけ下島の方は元気がないというようなことをよく言われます。インバウンドに限らずですね、全体観光として、あまりよろしくないというようなお話をいただきます。ぜひ皆さんまで、皆さんも一緒に観光協会として頑張っていきたいなというふうに思っております。

最初に言うべきでしたが、皆様のご協力の元、総会がスムーズに終了し、また質疑応答により深い理解につながったかなというふうに思っております。今後一層観光協会が頑張っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思っております。

先ほど話がありましたように、450名ぐらいの定数がございます。この会場に入れにくいぐらい、後ろの会場の壁を突き抜けるぐらい、オンラインなら集まるべきかもしれません。

ですので、いろんな人を巻き込みながら、次回の総会では、ぜひ大広間までできるように、頑張っていきたいなと思っております。皆様、どうぞどうかよろしくお願いします。それでは、令和7年度一般社団法人天草宝島観光協会の通常総会を閉会いたします。ありがとうございました。

(司会 金子)

以上をもちまして、令和7年一般社団法人通常総会を閉会いたします。本日はご多用の中、また、

雨も降りまして、お足元の悪い中、多くの皆様にご列席いただき、ありがとうございました。

本日は誠にありがとうございました。お疲れ様でした。

-終了-